



鶏肉 ・ 鶏卵

けいにく とりにく ・ けいらん

肉用若鶏の生産 全国 6 億 3,408 万羽

道内 3,116 万羽(5%)

道内の採卵用の鶏の飼育数 772 万羽

道内の鶏卵の生産量 10 万 t(全国の 4%) ※全国 251 万 t

道内の鶏卵の主な産地 道央圏(特に石狩・胆振)

過去 4 回の試験で、鶏肉と鶏卵を合わせた問題が 3 問出題されました。



出題のポイント

○鶏(ニワトリ)はもともと東南アジアやインドに野生していた野鶏(ヤケイ)が家禽(カキン)化したものである。

○ブロイラーという言葉は、現在では肉用種の総称として使われている。

○地鶏は日本の在来種からつくられ、飼育方法についても定めがある。

○地鶏は肉質を第一に考えて飼育するため、ブロイラーよりも飼育期間は長くなる。

○飼育期間はブロイラー 8 週間、地鶏は 15 ～ 20 週程度である。

○羽の色が柏の葉に似ている鶏を「かしわ」といい、鶏肉一般に使われるようになった。

○鶏の経済寿命(飼育期間)は本来の寿命よりもかなり短い。(牛・豚も同じだが)

○わが国で飼育されている採卵用の代表的な品種は白色レグホーンである。

○鶏卵は卵殻、卵白、卵黄で構成され、それぞれの重量比はほぼ 10%、60%、30%である。

○鶏卵の卵白部は、衝撃に弱い卵黄を保護する役割を持っている。

○鶏は、日照時間が短くなると産卵活動が低下するため、養鶏場では光線管理を行っている。



茶話

戦争がつくりだしたブロイラー

「品種改良の世界史・家畜編」(正田陽一編 悠書館)によるとブロイラーは第二次世界大戦下のアメリカで誕生しました。要約すると次のようになります。

第二次世界大戦中、牛肉が軍需用に使われ、肉不足は深刻な問題だった。牛は年1頭しか子を産まず、出荷するまで2年かかる。豚は6ヶ月で飼育出荷できるが、子は一度に10頭しか生まれない。鶏なら多くの卵を孵化(フカ)させれば多くの雛(ヒナ)ができ、2～3月齢で出荷できる。こうして若鶏を出荷する新しい食肉産業が生まれた。戦後は一時期成長の勢いは衰えたが、生産コ